

2025 年 5 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社リプロセル
 代 表 者 名 代表取締役社長 横山 周史
 (コード番号：4978、東証グロース市場)
 問 合 せ 先 経営管理部 GM 山根 幸司
 (TEL. 045-475-3887)

2025 年 3 月期通期個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、2025 年 3 月期（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）通期個別業績につきまして、前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期（通期）個別業績と前期業績値との差異（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益 (円)
前期（2024 年 3 月期） 実績（A）	941	△387	△61	△205	△2.40
当期（2025 年 3 月期） 実績（B）	960	△400	△284	△305	△3.29
増減額（B－A）	18	△13	△222	△100	－
増 減 率（％）	1.91	－	－	－	－

2. 前期実績値との差異の理由

経常利益：経常利益については、前期は2023年5月30日付で開示いたしました「令和4年度神奈川県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援補助金（医療分）交付額確定のお知らせ」に記載のとおり、当該補助金を営業外収益として計上しておりましたが、今期は当該補助金がなく、その分が減少要因となっております。

また、為替の変動により、前期に計上していた為替差益が大幅に減少したことも影響し、経常損益は前期に比べて損失幅が拡大しております。

当期純利益：前期に計上していた関係会社株式評価損105百万円と比較して、当期に計上した同様の評価損は9百万円にとどまったことから、特別損失は前期に比べて減少しております。

しかしながら、営業外収益の減少および為替差益の縮小等により経常損失が拡大したため、特別損失の減少効果を上回る影響が生じ、結果として当期純損失は前期に比べて増加する結果となりました。

以上の理由により、2025年3月期通期個別業績と前期実績値との間に差異が生じています。

以上